番組審議会
第 20 回　BS よしもと番組審議会

■開催年月日:　2026 年 10 月 16 日（金）

■開催場所　:　BS よしもと株式会社 会議室

■出席した審議委員（敬称略 / 50 音順）7 名中 7 名出席

石川牧子　（フリーアナウンサー/NPO 法人日本マナー・プロトコール協会　理事）
大網直子　（一般社団法人おーあみ避難所　代表理事）
川上和久　（麗澤大学教授）
久保　博　（一般財団法人日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）
品田英明　（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）
清水義次　（建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役）
山田奈美香（山田・尾崎法律事務所　弁護士）

■議題

1. 開会の辞　　（川上審議委員長）
2. 開会の挨拶　　（稲垣社長）
3. 【報告事項】編成関連の報告
   ・10 月改編他編成動向について
   ・放送番組の編集に関する基本計画一部変更 について
   ・ジャンル種別・比率について
4. 【報告事項】視聴者からの反応の共有（コールセンターレポートより）
5. 【番組審議】
   対象番組：
   ・第一芸人文芸部　俺の推し本。　シーズン 7　#1（1 月 11 日放送）
   ・芸人原作オーディション　ゼロイチ（8 月 23 日放送）
6. 閉会の挨拶　　（泉副社長）
7. 閉会の辞　　（川上審議委員長）
8. 事務局からの連絡

■審議の経過の概要等

川上審議委員長による開会の辞に続き、稲垣社長より「業績が上向いており、今後は更なる営業収益の向上と配信による利益拡大を目指した編成を行っていく」との方針を述べた後、議事に入った。

１．編成関連の報告

木本公敏常務取締役兼編成制作局長より「10 月改編他編成動向について」、続いて清水編成制作局長補佐より「放送番組の編集に関する基本計画一部変更」及び「ジャンル種別・比率」について、以下の通り説明を行い、出席者全員に確認された。

① 10 月改編他編成動向について

・深夜帯の改編による TVer 配信の充実

平日 23:30 から帯で放送していた「Y-Tube 大賞」を 24:30 から 25:30 へ移動。同番組の後枠にて 3 時間にわたり再放送していた「発信 Live ジモトノチカラ！」については TVer での配信視聴に移行し、当該枠では過去に 1,000 回以上放送した「Y-Tube 大賞」の過去作をまとめて再放送する。また、「小倉淳の 47 フォーカス」も TVer での配信を開始するなど、これまで未配信だったコンテンツを TVer で視聴できる環境整備を進めている。

・新番組の放送開始

好評を得ているゴルフ番組「ニューヨーク屋敷のゴルフ交友録」「タカトシ＆ライオンの！新ゴルフやろうぜ！」に加え、新たに第 3 のゴルフ番組「GG.LEAGUE2026 presented by TETRIX」の放送を開始した。

また、茅ヶ崎エフエムと BS よしもとのコラボレーションによる新番組「囲碁将棋の勝手にストリート」（土曜 24:00～25:00）をスタートした。本番組は、茅ヶ崎エフエム（ラジオ）と BS よしもと（テレビ）での放送に加え、見逃し配信として radiko 及び TVer で展開し、一つのラジオ番組を複数メディアで展開する新たな試みである。

さらに、株式会社ドリームズのオリジナルキャラクターをアニメ化した「ふんばるず」を、BS よしもとのアニメ番組として毎週土曜 23：25 から 5 分間の番組としてスタートした。

② 放送番組の編集に関する基本計画一部変更について

前回の審議会において諮問した内容について、総務省での所要の手続きが完了した。これに伴い番組種別から「教育」項目を削除し、すべて「教養」へ統一し、公式ホームページにおいてもこの形で公表している。

③ ジャンル種別・比率について

・「報道」と「娯楽」については前回と同水準で推移しており、「教養」は「教育」の数値が加算された結果となっている。
・通販に関しては前回比で増加傾向にある。
・CM の放送時間に関しては前回に比べ若干減少しているが、その分通販の数値がアップしており、全体の収益の増加に寄与している。

２．視聴者からの反応の共有（コールセンターレポートより）

考査部より、本年７月～9 月中にコールセンターに寄せられた視聴者意見のサマリーを報告し、全審議委員に共有し、確認された。

３．番組審議

対象番組：
・第一芸人文芸部　俺の推し本。　シーズン７ #1（1 月 11 日放送）
・芸人原作オーディション　ゼロイチ（8 月 23 日放送）

番組チーフプロデューサーより、両番組の立ち上げ経緯及び概要を説明した後、川上審議委員長の進行のもと審議を行った。

【各審議委員からの主な意見】

第一芸人文芸部　俺の推し本。　シーズン７ #1

・ピース又吉氏の存在の大きさを改めて認識させられる番組であった。
・本好きにはたまらないような BS よしもとらしい番組である。画の構成はやや単調ではあるものの、プレゼンの内容が優れているため、熱心な読書家でなくとも、興味を持つ視聴者が多いのではないか。
・活字離れが指摘される昨今において、読書の楽しさを伝え推奨することで「考える所作」の啓蒙にも繋がるような意義ある番組なので、今後もブラッシュアップを重ねて継続して欲しい。

芸人原作オーディション　ゼロイチ

・芸人たちの緊張感のあるプレゼンから、このオーディションに懸ける想いや芸人自身の人生そのものが伝わってくるような大変良い企画であり、今後も「M-１グランプリ」のように毎年継続して欲しい。
・視聴者がＱＲコードにアクセスしながら番組を視聴するのは難しく、本の内容理解に苦労したと思われる。MC による説明やテロップによる補足など、より詳しい説明があれば尚よかった。

・ピース又吉氏のコメント力、審査員の論評の内容が非常に優れていた。
・一部で音声レベルにバラつきが感じられた。
・プレゼンターの人数が多く感じられた。まだまだ才能発掘のポテンシャルが感じられるため、ジャンル分けや前後編への分割など構成を工夫することで、より見やすく、多くの芸人にチャンスが与えられるのではないか。
・企画に賛同し挙手した企業と、芸人のその後の様子も見てみたくなった。
・番組内で使用された投稿プラットフォーム「note」の収益化機能などを活用し、プレゼンターの芸人へ利益還元ができるような仕組みを試みてはどうか。

【制作側の回答・今後の対応】

第一芸人文芸部　俺の推し本。　シーズン７ #1

放送開始からすでに約 3 年近く続いている番組なので、今後は作家のゲスト出演や画作りの改善などを試みながら、より良い形で継続していきたい。

芸人原作オーディション　ゼロイチ

・尺の長さと作品の内容の伝え方について、今後はテロップや MC からの補足などで理解を助ける工夫をしていきたい。また、ご指摘いただいた音声レベルについても技術的、品質的な改善に努める。
・当選した芸人のその後については、「第一芸人文芸部　俺の推し本。」の番組内で紹介するなどの方法で視聴者に伝えていきたい。
・今後も、芸人の原作力をたくさん発掘して、より良い番組にしていきたい。

４．閉会の挨拶

泉副社長より、当局のメインテーマである「地域創生」に向けた取り組みとして放送中の『発信 LIVE！ジモトノチカラ』内の「ニッポン全国ふるさと自慢」コーナーについて報告があった。同コーナーにはこれまでに 434 の自治体首長や地域関係者が出演し、各地域から好評を得ており、今後も全国 1,741 の市区町村との取り組みを推進していくという方針であることを述べ、続いて最後に川上審議委員長の閉会の辞をもって、審議会を終了した。

■現在のＢＳよしもと審議会委員（2026 年 8 月現在・50 音順 / 敬称略）

石川牧子　（フリーアナウンサー/NPO 法人日本マナー・プロトコール協会　理事）
大網直子　（一般社団法人おーあみ避難所　代表理事）
川上和久　（麗澤大学教授）
久保　博　（一般財団法人日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）
品田英明　（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）
清水義次　（建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役）
山田奈美香（山田・尾﨑法律事務所　弁護士）

以上